

Aquaculture Stewardship Council (水産養殖管理協議会) 及び
Marine Stewardship Council (海洋管理協議会)

ASC-MSC 海藻(藻類)審査通知様式
[年次監査]

1.0版 (2017年12月8日発行)



審査関連文書:

ASC-MSC 海藻(藻類)規格
ASC-MSC 海藻(藻類)認証・認定要求事項

本文書名:

ASC-MSC 海藻(藻類)審査通知様式 1.0版

版数

版	日付	変更箇所
1.0	2017/12/8	新規文書



Instructions for using the ASC-MSC Seaweed (Algae) Audit Announcement Template

This template details the information required from conformity assessment bodies (CABs) when formally announcing the entry of a production unit into assessment, re-assessment or surveillance, which will be published on the ASC-MSC website. The template should be submitted as follows:

1. Completed client document checklist, and
2. Pre-audit report (if one exists and was written by the CAB doing full audit).

Please complete all unshaded fields. Where instructions are included in brackets or *italics*, please delete and replace with your specific information.

Corporate branding

The production unit Audit Announcement Template may be formatted to comply with the CAB corporate identity. It is the structure and content of the template sections below that must be followed.

Examples of appropriate amendments are:

- a. A company header used throughout the report.
- b. A company footer replacing the current ASC-MSC footer.
- c. Inclusion of contact details for the assessment team members in relation to consultation.
- d. Deletion of the instruction tab

生産区域の詳細

生産区域名	八重山殖産株式会社
対象種の一般名称	ミドリムシ クロレラ
対象種の学名	Euglena gracilis Chlorella sorokiniana
生産システム	陸上養殖 / 人工種苗
生産区域の位置	〒907-0242 沖縄県石垣市白保287-14
資源分布	カテゴリ-Ciiにつき該当しない。天然種苗は使用しない。
受入海域	沖縄県石垣島白保海岸地域
生産区域の顧客	出雲 充 (株式会社ユーグレナ 代表取締役社長)
設備	培養器、培養槽、培養プール、分離機、乾燥機、梱包機、冷蔵庫、倉庫、ボイラー
認証単位	UoCはUoAと同じである。
収穫時期	年間を通じて
管理システム	当社は、養殖のプロセスを定量化しながら確認、管理をしている。 用即プロセスには、種苗の培養、養殖、洗浄、分離、濃縮、冷却、プランチング、乾燥、パッケージングが含まれる。
海藻分類	Cii。完全な陸上養殖システム。天然種苗の供給は不要。
生産区域が適用範囲に含まれる事を示す記述	<p>当認証申請者は、藻類基準セクション2の適用範囲に関する要求事項を満たしていることを示す認証機関による記述。</p> <p>採取または養殖活動は、対象種が藻類の場合のみ認証の対象となる。対象種は、ミドリムシおよびクロレラであり、共に藻類である。</p> <p>本基準は、世界中のどの場所におけるどのような規模の事業にも適用され、天然資源の採取と養殖システムによる生産の両方を含む。本審査の対象は養殖システムによる生産である。</p> <p>本基準は、藻類生産区域(生産者)のみに適用される。既存のASCまたはMSC基準の下で評価されているその他の生産区域(生産者)は藻類基準によっていかなる影響も受けない。 生産区域には、ミドリムシおよびクロレラのみが含まれる。</p> <p>外来種(非在来種)の移入を含む採取または養殖活動は、以下を満たさない限り認証対象にならない: 藻類基準に対する認証申請日の、少なくとも20年前に移入されていること。または 外来種が水環境から完全に隔離された地上の施設で養殖されていること。 ミドリムシ、クロレラは外来種ではない。</p> <p>認証を望む組織は、少なくとも12か月、もしくは1採取サイクルのうち、どちらか短い期間にわたって操業していなければならない。 クロレラの生産は過去40年以上に渡って行われている、ミドリムシの生産は過去10年以上に渡って行われている。</p> <p>認証を望む組織は、基準に定められた期間を包括する実績データの記録を有していなければならない。申請者は十分なデータを有する。</p> <p>変異原性、発がん性、催奇形性のある農薬や、海洋環境、もしくは養殖場、養殖された藻類に毒素が残存する、その他の化学薬品を使用する採取または養殖活動は認証の対象にならない。申請者は毒性の化学薬品を使用していない。</p>
生産区域の操業者	中野 良平
極小規模な家族経営であることを示す情報	極小規模な家族経営ではない。
収穫/生産データ	年間約100トンのミドリムシおよび約100トンのクロレラ。
生産区域の沿革	八重山殖産株式会社は1975年に設立された。1984年には培養プール13基を増設した。
同地域内の他の生産区域	なし。
主な市場	健康食品や化粧品の消費者市場
認証機関によるその他の情報(生産区域に関する特記すべき注意事項等)	-

審査詳細

認証機関 (CAB)	認証機関名: アミタ株式会社
	審査チームリーダー: 小川直也
	審査に関する連絡先 (審査チームリーダーと異なる場合): 同上
	メール: ninsho@amita-net.co.jp
	電話: +81-3-5296-9372
	所在地: 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目6番地7
顧客	株式会社ユーグレナ
	朝山 雄太
	生産技術開発部 品質保証課 課長
	asayama@euglena.jp
	090-6587-4027
	〒105-0014 東京都港区芝5-29-11
審査のタイプ	年次監査
推定される審査の期間およびスケジュール	現地監査: 2021年7月15日 公開用認証報告書: 2021年9月14日
チームリーダー	小川直也: 小川が初回審査のチームリーダーである。小川は環境科学の専門家であり、審査員として5年間で30回以上のASC養殖場認証審査経験を有する。ASC- MSC海草審査員トレーニングを修了している。また小川は社会面の審査員も務める。ASCの社会面の審査を20回以上実施しており、SA8000アドバンスド・コースを修了している。小川は、審査対象の生産区域といかなる利害関係もない。
計画されている審査員	
現地監査日	2021年7月15日
現地監査日および場所	生産サイト: 現地監査日: 2021年7月15日。座標: 24.34653 N, 124.235802 E
利害関係者	従業員、株主、消費者、加工業者、物流業者、地域住民、研究者
リスクに基づく審査枠組み	リスクに基づく審査枠組みは用いない。
利害関係者の招待	現地監査の主な目的は、情報収集および生産区域に関心のある利害関係者と話すことである。リスクに基づく審査枠組みを用いる場合は、現地監査において利害関係者によって主導される定量、半定量的な分析を用いる。聞き取りによって十分な結果を得るためには、生産区域に関するバランスの取れた知識を有する幅広い利害関係者の参加が必須である。生産区域に関する知見を有する利害関係者には是非とも話を聞く機会をいただきたい。

現地監査の間に話すことができない場合や、話すことを希望しない利害関係者は情報を文書にて審査チームに送ってもよい。[認機関認定要求事項17.6.6.1]

CoCに関する情報

以下のリスクが現在または潜在的にあるか特定すること	存在する場合はリスク因子の説明	リスクを管理するために整備されているトレーサビリティ、分別またはその他の仕組み
a. 同事業体内で生産される同じまたは類似する見た目や魚種の製品を考慮した上で認証製品と非認証製品が混在または置き換わる可能性	審査単位内で生産されるのは認証藻類だけであるためリスクはない。	審査単位内で生産されるのは認証藻類だけである。
b. 養殖、収穫、輸送、保管または加工業務中に存在する同じまたは類似する見た目や魚種の製品を考慮した上で認証製品と非認証製品が混在または置き換わる可能性	生産されたミドリムシとクロレワは乾燥され、同施設内で保管される。外部委託工場などで加工業務を行う場合は別途潜在的なリスクが発生する。	審査単位では収穫後の認証藻類のみが乾燥、保管される。外部委託工場で加工する場合は別途CoC認証を取得する。
c. 認証製品の取り扱い、輸送、保管または加工において請負業者が使用される可能性	乾燥されたミドリムシとクロレワは、外部委託工場において最終製品へと加工されるが、現状では認証製品への加工を行っていない。	必要に応じて外部委託工場が別途CoC認証を取得する。
d. 製品がCoCへ受け渡される前に、認証製品と非認証製品が混在または置き換わる、または間違っラベルが付けられる、その他の機会	そのような機会はない。	そのような機会はない。

小川 直也

A. 所属、連絡先

1. 契約: アミタ株式会社
2. 所在地: 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-9-1 肥後橋センタービル
電話番号: 06-7654-6882
ファックス番号: 06-6444-0690
3. E-mail: nogawa@amuta-net.co.jp

B. 業務経歴

- 2019年5月- 現在 アミタ株式会社外部審査員
- 2002年4月- 2019年4月 アミタ株式会社
- Aquaculture Stewardship Council (水産養殖管理協議会:ASC) 養殖場認証審査員
 - Marine Stewardship Council (海洋管理協議会:MSC) COC 認証審査員
 - Forest Stewardship Council® (森林管理協議会:FSC®) 森林管理(FM)認証およびCOC 認証審査員
 - Programme for the Endorsement of Forest Certification (PEFC) COC 認証審査員

業務経歴

- 審査**
- カキ、ブリ、サケ、マダイ、藻類養殖場において30回以上のASC養殖場認証審査
 - 加工業者、流通業者、商社など様々な業種における30回以上のMSC/ASC COC 審査
 - 100haから145,000haまで、企業、森林組合、市町村などが管理する人工林や天然林に対する100回以上のFSC FM 認証審査
 - 製材所、木工所、家具業者、工務店、木材市場、製紙会社、印刷会社、商社など様々な企業・団体における200回以上のFSC COC 審査
- 普及啓発**
- FSC FM 認証、ASC 養殖場認証、FSC や MSC/ASC COC 認証の講習会を講師として開催。説明資料を作成。

C. 教育・研修経歴

- 2017年12月 SA8000 Advanced Auditor Course
- 2017年3月 SA8000 Introduction and Basic Auditor Training Course
- 2007年5月 ISO 9000 審査員・主任審査員研修 (IRCA 1197759)
- 2002年3月 東京大学農学生命科学研究科修了 修士(農学)
- 2000年3月 東京大学農学部 卒業
- 専門: 生態学

D. 資格

技術士(環境部門)